
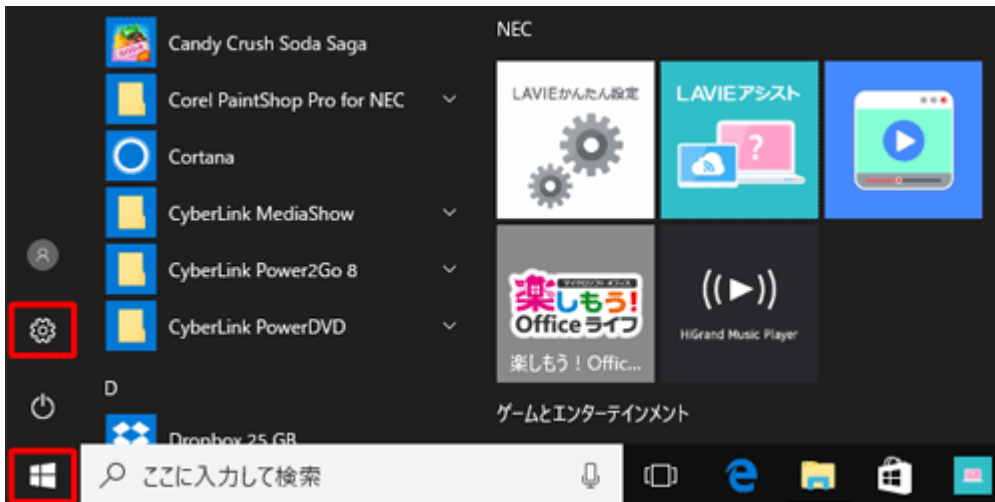
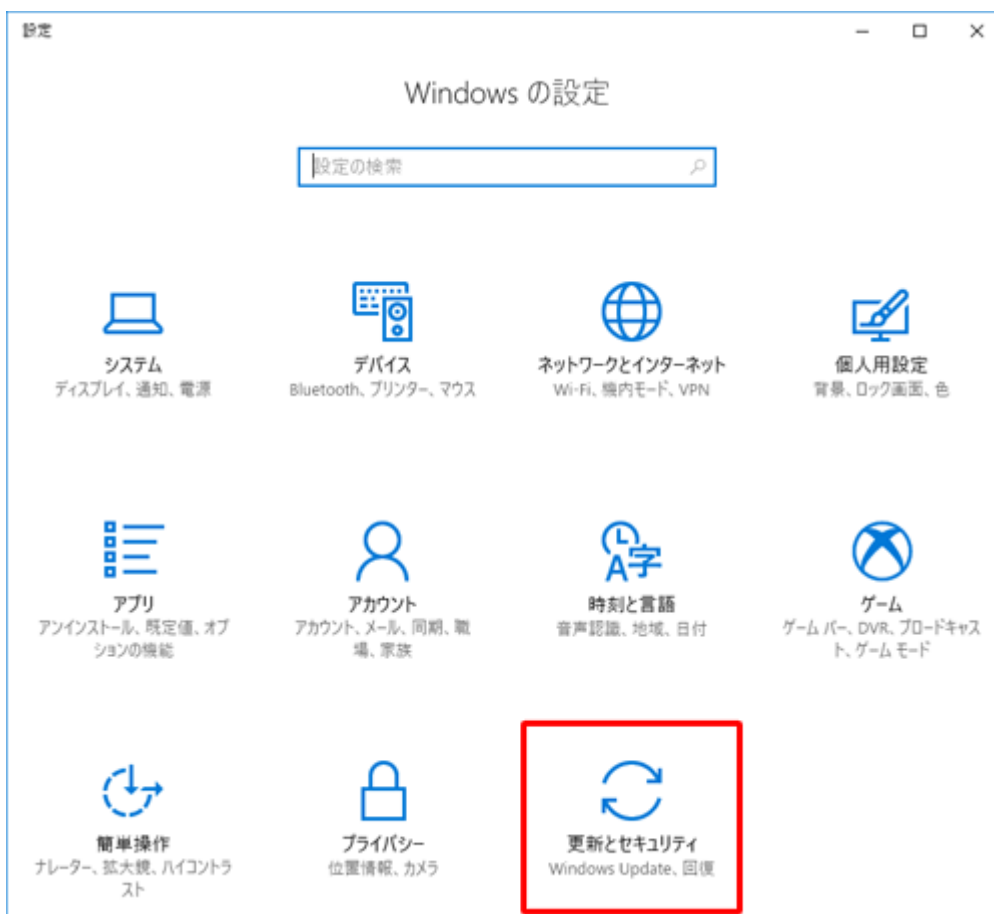


## Windows Defender における除外設定の方法(Windows10)

1. 「スタート」 → 「」 (設定) の順にクリックします。

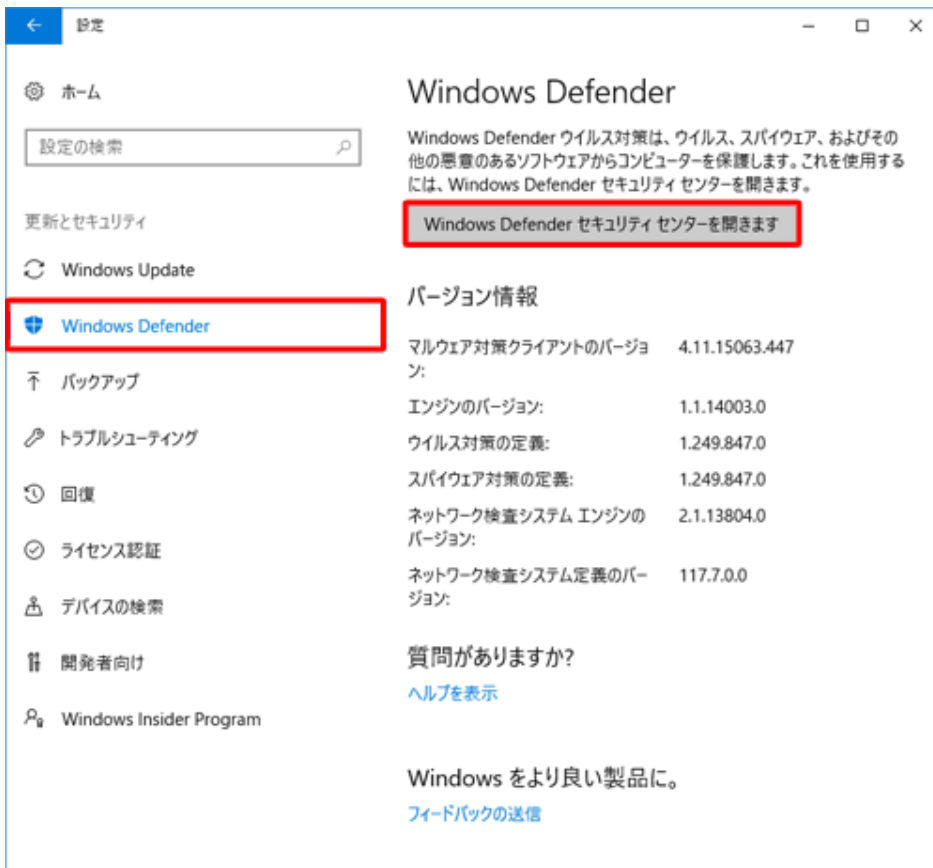


2. 「設定」が表示されます。  
「更新とセキュリティ」をクリックします。



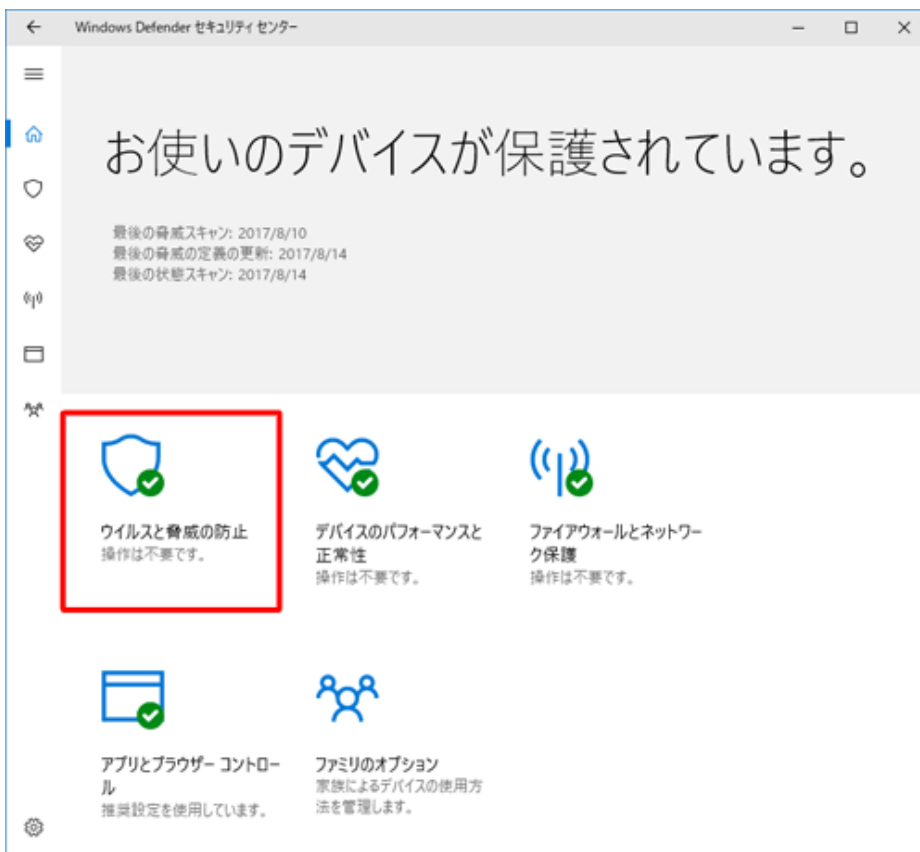
3. 「更新とセキュリティ」が表示されます。

「Windows Defender」をクリックし、表示された画面から「Windows Defender セキュリティセンターを開きます」をクリックします。



4. 「Windows Defender セキュリティセンター」が表示されます。

「ウイルスと脅威の防止」をクリックします。



5. 「ウイルスと脅威の防止」が表示されます。  
「ウイルスと脅威の防止の設定」をクリックします。

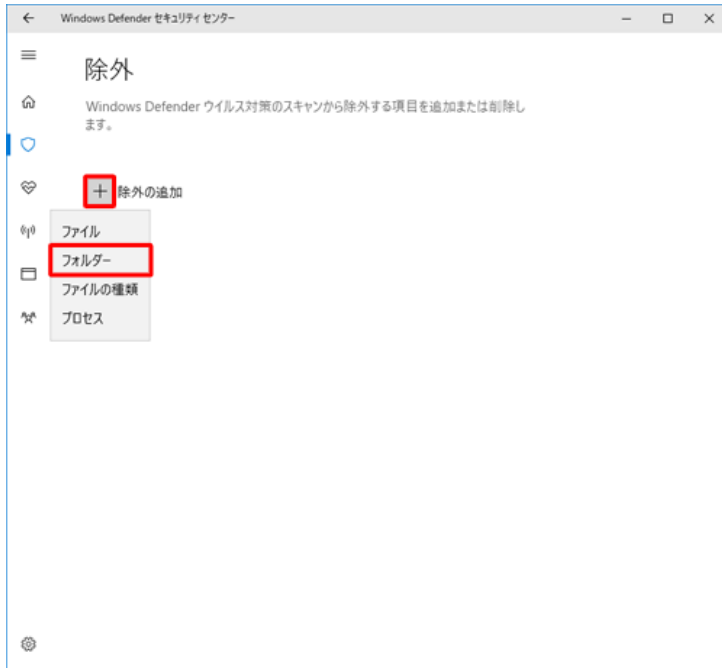


6. 「除外」欄から「除外の追加または削除」をクリックします。



7. 「除外」が表示されます。

「除外の追加」の「+」をクリックし、表示された一覧から「フォルダー」をクリックします。



8. 「フォルダーの選択」が表示されます。

下記のフォルダーをクリックし、「フォルダーの選択」をクリックすると、除外フォルダーが追加されます。

1) クレアコンポⅡの場合

C:\Users\ (ログインしているユーザー名) \AppData\Local\Apps\2.0

※親機(サーバー)の場合以下のフォルダーの設定も必要

C:\inetpub\Intranet

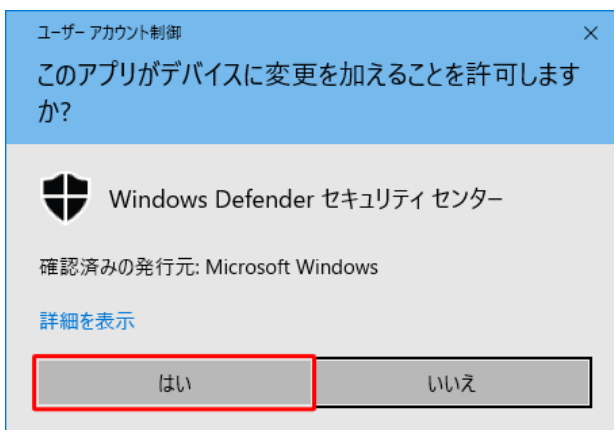
2) クレアコンポ、XiFormMagic の場合

C:\CREACOMPO

※フォルダが表示されない場合、下記URLで紹介されている手順に従って、設定を変更してください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/14201/windows-show-hidden-files>

9. 「ユーザーアカウント制御」が表示された場合は、「はい」をクリックします。



10. 「除外」の画面に戻ります。

除外したフォルダー名が表示されたことを確認します。